改訂日 :　2023/12/26

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : 08874-K9011　撥水メンテナンスクリーナー

製品名称2:08874-K9027　メンテナンスセット補充用セット

08874-K9032　スマートフィニッシュnanoオーナーズメンテナンスキット

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : コーティング面メンテナンス用

使用上の制限 : 推奨用途以外に使用しないこと。

供給者の会社名称、住所及び電話番号

販売元 : 株式会社バンザイ

住所 : 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

担当部署 : 営業企画開発部

電話番号 : 03-3769-6884

FAX : 03-3456-4691

製造元 : 株式会社BTO

住所 : 〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東5-2-19

担当部署 : 商品企画部

電話番号 : 06-6302-5711

FAX : 06-6302-5712

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

誤えん有害性:区分 1

環境有害性

水生環境有害性　短期(急性):区分 3

水生環境有害性　長期(慢性):区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語:危険

危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H402 水生生物に有害

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233 容器を密閉しておくこと。

P240 容器を接地しアースをとること。

P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置
P370 + P378 火災の場合:指定された消火剤を使用すること。
P391 漏出物を回収すること。
P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
P331 無理に吐かせないこと。
P301 + P310 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。
貯蔵
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
水	7732-18-5	45 - 50	対象外
イソパラフィン系炭化水素	非公開	40 - 45	非公開
シリコーン	非公開	< 5	非公開
ノナン	111-84-2	< 1	2-9
ミネラルスピリット	非公開	< 3	非公開
2-アミノエタノール	141-43-5	< 1	2-301
酸化チタン	13463-67-7	< 1	1-558
アルキルトリアジン	4719-04-4	< 1	5-1080

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
ミネラルスピリット
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
ミネラルスピリット , 2-アミノエタノール , 酸化チタン , アルキルトリアジン(令和7年4月1日施行)

4. 応急措置

応急措置の記述
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
多量の水と石鹸で優しく洗う。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
応急措置をする者の保護
保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項
医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置
消火剤
適切な消火剤
霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
使ってはならない消火剤
冷却目的で霧状水は用いても良いが、消火に棒状注水を用いてはならない。
特有の危険有害性
燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
蒸気を吸入しないために風上に移動する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
火災の際には適切な呼吸器を着用する。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
環境に対する注意事項
環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策
漏出物を回収すること。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
技術的対策
(火災・爆発の防止)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
取扱いは屋外または換気のよい場所で行う。
取扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避
「10.安定性及び反応性」を参照
衛生対策
取扱い後はよく手を洗う。
保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
酸と一緒に保管してはならない。
安全な容器包装材料
製品の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度、濃度基準値データなし
許容濃度
(ノナン)
日本産衛学会(1989) 200ppm; 1050mg/m3
(2-アミノエタノール)
日本産衛学会(1965) 3ppm; 7.5mg/m3
(酸化チタン)
日本産衛学会(2022) 1.5mg/m3 (吸入性粉塵); 2mg/m3 (総粉塵)
(ノナン)
ACGIH(2012) TWA: 200ppm (中枢神経系障害)
(ミネラルスピリット)
ACGIH(2003) TWA: 200mg/m3(P) (皮膚及び上気道刺激; 中枢神経系障害)
(2-アミノエタノール)
ACGIH(1985) TWA: 3ppm;
STEL: 6ppm (眼及び皮膚刺激)
(酸化チタン)
ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m3(R) (下気道刺激; じん肺症)
特記事項
(ミネラルスピリット)
皮膚吸収
ばく露防止
設備対策
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具
呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具

保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 : 液体
色 : 白色
臭い : 溶剤臭
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点 : 100℃
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点 : 51℃
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 9.4±0.5
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度 : 0.91±0.02
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発をもたらす。
避けるべき条件
高温、直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパークを避けること。
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
区分4 に分類される成分

アルキルトリアジン
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量合計/区分4のATE)
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/(0.5mg/kg-bw)) + (区分2に分類される成分の含有量合計/(5mg/kg-bw)) + (区分3に分類される成分の含有量合計/(100mg/kg-bw)) + (区分4に分類される成分の含有量合計/(500mg/kg-bw))
300 < 区分4 <= 2000 の範囲を超えるため、区分に該当しない。
[成分データ]
(2-アミノエタノール)
rat LD50=500-20000mg/kg (NITE初期リスク評価書, 2008)
(酸化チタン)
rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)
(アルキルトリアジン)
rat LD50=580mg/kg (DFGOT vol. 2, 1991)
(イソパラフィン系炭化水素)
LD50 > 5000 mg/kg (ﾗｯﾄ, 類似品)
(シリコーン)
LD50 > 5000 mg/kg (ﾗｯﾄ)
(ミネラルスピリット)
LD50 >5000 mg/kg(類似物)

急性毒性(経皮)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
区分4 に分類される成分
2-アミノエタノール
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量合計/区分4のATE)
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/(5mg/kg-bw)) + (区分2に分類される成分の含有量合計/(50mg/kg-bw)) + (区分3に分類される成分の含有量合計/(300mg/kg-bw)) + (区分4に分類される成分の含有量合計/(1100mg/kg-bw))
1000 < 区分4 <= 2000 の範囲を超えるため、区分に該当しない。
[成分データ]
(2-アミノエタノール)
rabbit LD50=1018mg/kg (PATTY 6th, 2012)
(酸化チタン)
hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)
(ミネラルスピリット)
LD50 >2000 mg/kg(類似物)
(イソパラフィン系炭化水素)
LD50 > 5000 mg/kg (ウサギ, 類似品)

急性毒性(吸入)
[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]
区分4 に分類される成分
ノナン
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量合計/区分4のATE)
(100/ATEmix) = (区分1に分類される成分の含有量合計/(0.05mg/L)) + (区分2に分類される成分の含有量合計/(0.5mg/L)) + (区分3に分類される成分の含有量合計/(3mg/L)) + (区分4に分類される成分の含有量合計/(11mg/L))
10.0 < 区分4 <= 20.0 の範囲を超えるため、区分に該当しない。
[成分データ]
(ノナン)

vapor: rat LC50=3200ppm/4hr (ACGIH 7th, 2012)
(酸化チタン)
dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)
(イソパラフィン系炭化水素)
LO50 > 5000 mg/m3/4h (ラット, 類似品)
急性毒性 (経口):分類できない
混合物の10-20%は急性毒性(経口)が未知の成分から成る。
急性毒性 (経皮):分類できない
混合物の10-20%は急性毒性(経皮)が未知の成分から成る。
急性毒性 (吸入):分類できない
混合物の50-60%は急性毒性(吸入)が未知の成分から成る。

皮膚腐食性/刺激性
[成分情報を用い加成方式を適用した分類根拠]
皮膚区分1A に分類される成分
2-アミノエタノール
皮膚区分2 に分類される成分
ノナン
(10 x 皮膚区分1) + 皮膚区分2 < 10% であるため、区分に該当しない。
[成分データ]
分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[成分データ]
分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
呼吸器感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[成分データ]
分類できない

皮膚感作性
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
2-アミノエタノール; アルキルトリアジン
皮膚感作性を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
[成分データ]
分類できない

生殖細胞変異原性
[成分情報を用いた分類根拠]
生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[成分データ]
分類できない

発がん性
[成分情報を用いた分類根拠]
区分2 に分類される成分
酸化チタン
発がん性を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
[成分データ]
分類できない
[IARC]
(酸化チタン)
Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
[ACGIH]
(ミネラルスピリット)
A3(as total hydrocarbon vapor)(2003) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連

は不明
(酸化チタン)
A3(as Finescale particles)(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性
[生殖毒性:成分データを用いた分類根拠]
生殖毒性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分) : 成分データを用いた分類根拠]
授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。
[成分データ]
分類できない

特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
2-アミノエタノール
区分2 に分類される成分
ノナン
区分3 (気道刺激性) に分類される成分
ノナン
区分3 (麻酔作用) に分類される成分
ノナン; 2-アミノエタノール
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。
[成分データ]
[区分3(麻酔作用)]
眠気又はめまいのおそれ
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[成分情報を用いた分類根拠]
区分1 に分類される成分
酸化チタン; 2-アミノエタノール
区分2 に分類される成分
2-アミノエタノール
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。

誤えん有害性
[製品]
区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 3, 水生生物に有害
区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性
[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 短期(急性)]
区分1 に分類される成分、および各々の毒性乗率M
ノナン(M=1)
区分2 に分類される成分
2-アミノエタノール; ミネラルスピリット
区分3 に分類される成分
アルキルトリアジン
(M X 100 x 区分1) + (10 x 区分2) + 区分3 >= 25% であるため、区分3に分類した。
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)

(イソパラフィン系炭化水素)
LLO 1000 mg/L/96h (魚類(ニジマス))
(ノナン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.2mg/L/48hr (SIDS, 2010)
(ミネラルスピリット)
魚類 (ブルーギル) LC50＝2.2mg/L/96hr (Aquire, 2009)
(2-アミノエタノール)
藻類 (セレナストラム) ErC50=2.5mg/L/72hr (環境省, 1996)
(酸化チタン)
甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)
(アルキルトリアジン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=26.1mg/L/48hr (ECOTOX, 2008)
区分 2, 水生生物に毒性
混合物の50-60%は水生環境有害性 短期(急性)が不明である。
水生環境有害性 長期(慢性)
区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性
混合物の10-20%は水生環境有害性 長期(慢性)が不明である。

水溶解度
(ノナン)
非常に溶けにくい (0.00002 g/100 ml, 25℃) (ICSC, 2011)
(ミネラルスピリット)
0.15 g/100 ml (20℃) (ICSC, 2013)
(2-アミノエタノール)
非常によく溶ける (ICSC, 2002)
(酸化チタン)
溶けない (ICSC, 2002)

残留性・分解性
[成分データ]
(ノナン)
急速分解性あり (BODによる分解度:96% (既存点検, 1996))
(2-アミノエタノール)
BODによる分解度:83% (既存点検)
(アルキルトリアジン)
急速分解性なし (SRC: BIOWIN V4.10)

生体蓄積性
[成分データ]
(ノナン)
log Pow=5.65 (ICSC, 2011)
(2-アミノエタノール)
log Pow=-1.31 (PHYSPROP DB, 2005)

土壌中の移動性
データなし

他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。

汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 1993
正式輸送名 :
(極性/水可溶) その他の引火性液体、N.O.S.
分類または区分 : 3
容器等級 : III
指針番号: 128
特別規定番号 : 223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1993
正式輸送名 :
(極性/水可溶) その他の引火性液体、N.O.S.
分類または区分 : 3
容器等級 : III
特別規定番号 : 223; 274; 955

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1993
正式輸送名 :
(極性/水可溶) その他の引火性液体、N.O.S.
分類または区分 : 3
危険性ラベル : Flamm.liquid
容器等級 : III
特別規定番号 : A3

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
ミネラルスピリット(別表第9の551)
名称通知危険/有害物
ミネラルスピリット(別表第9の551); 2-アミノエタノール(別表第9の21); 酸化チタン(別表第9の191); アルキルトリアジン(令和7年4月1日施行)
別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)
危険物・引火性の物 (30℃ <= 引火点 < 65℃)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

危険物
第4類 引火性液体第2石油類水溶性液体 危険等級 III(指定数量 2,000L)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。